



京機会ニュース

No. 22 平成20年(2008年)春号

京機会事務局 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL&FAX:075-753-5183 URL: <http://www.keikikai.jp/>

E-mail: jimukyoku@keikikai.jp

「春～初夏」の京機会行事

本年度も、京機会会員をはじめ、学生会員や会員ご家族にも楽しんでいただける企画を、多数開催いたします。下記は、春～初夏に向けての開催予定行事です。本部・支部共に、様々な趣向を盛り込んだ企画を予定しております。ご所属支部に関係なく多数のご参加をお待ち申し上げます。

●京機会春季大会・総会

4月19日(土)、横浜市みなとみらいの三菱重工業(株)横浜ビルで開催いたします。



今年度は、関東支部主催により、横浜みなとみらい地区を満喫できる企画も盛り込み京機会会員やご夫妻揃って参加いただける大会内容をご用意いたします。また、翌日には、懇親ゴルフ大会も開催いたします。詳細は、P.2をご覧ください。

●中部支部総会・新人歓迎会

4月13日(日)に、デンソーDスクエア(刈谷市)で開催いたします。同支部では、毎年部総会内で新人歓迎会も実施されており、多数の所属新入社員がご参加の予定です。詳細は、P.7をご覧ください。

●九州支部「初夏の行事」

5月31日(土)～6月1日(日)に、「霧島温泉とミヤマキリシマ、篤姫・薩摩歴史探訪」を企画いたします。詳細は、P.8をご覧ください。



本部ならびに各支部では、今後も多数の企画を開催予定です。詳細は、京機会HPや京機短信、E-mailにて随時ご案内いたします。また、「秋～冬」にかけての行事は、次号(No23)にてご紹介いたします。

講演や企画のご要望がございましたら、事務局までお声をお聞かせ下さい。

京機会データベース関連のお願い

●E-mail登録のお願い

京機会では、迅速な情報提供と経費節減のために、各種行事の案内手段を手紙やはがきからe-mailに移行しています。そこで、E-mail アドレス未登録の方ならびに変更された方は、このニュース 同封の返信はがき、またはE-mail(jimukyoku@keikikai.jp)にて事務局に登録願います。なお、年2回の京機会ニュースは、引き続き郵送にてお送りいたします。

●登録データの内容をご確認下さい

本部のデータシステム変更に伴い、本年2月よりデータ移行を徐々に進めております。データ移行には細心の注意を払いながら行っておりますが、念のため、各位におかれましては、今号・次号同封の登録データ内容を、ご確認いただき、万が一不備等ある場合は、早急に事務局迄ご連絡頂きたくお願い申し上げます。

京機会MOTセンター(KMC)のご紹介

平成18年に発足いたしました関西支部京機会MOTセンター(KMC)の活動をご紹介します。

京機会MOTセンター(KMC)は、設立以来一周年を迎え、平成19年12月15日、ホテルグランヴィア大阪において、総会を開催しました。総勢20名、今後一層の発展を誓い合いました。



KMC活動の詳細は、P.5をご覧ください。

フォーミュラプロジェクト「KART」 ～ 堂々の総合第6位! ～

昨秋の学生フォーミュラ大会にて入賞を果たした京都大学フォーミュラプロジェクト「KART」の活躍をご紹介します。

発足から4年。京大フォーミュラプロジェクトKARTは、平成19年9月に行われた第5回学生フォーミュラ大会にて念願の入賞を果たしました。

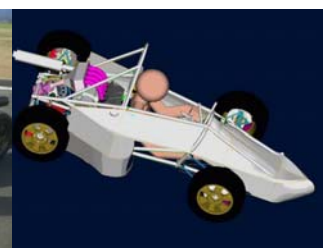


現在は、さらなる高みを目指し設計されたYJ-R06の製作が始まっています。

● P.10へ続く



2007年度車両 YJ-R05



2008年度車両 YJ-R06

平成20年度京機会春季大会・総会 開催のご案内

本大会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。
なお、今回はご夫婦での参加も募集いたしますので、横浜観光も兼ねた多数のご出席をお待ちしております。

日時：平成20年4月19日(土) 13:00～19:30

会場：三菱重工業(株) 横浜ビル 33階

〒220-8401 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号
みなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩5分
JR京浜東北線/横浜市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩10分
ランドマークタワーのすぐ隣り



行事：

I. 13:00～15:00 特別企画 (希望者のみ)

三菱みなとみらい技術館、横浜美術館の見学や横浜港クルーズ体験など、横浜みなとみらい地区を満喫できる企画を立案中。後日H/Pにて正式案内を掲載いたします。

II. 15:00～16:00 総会

- 1)平成19年度活動報告 2)会計報告・会計監査報告 3)支部報告
4)役員改選等 5)新年度運営方針 6)その他

III. 16:00～17:20 技術講演会

16:00～ 「大型発電プラントの熱効率向上」 三菱重工業(株) 若園 修氏 (S42)

16:40～ 「自動車用エンジンと燃料のこれから」

京都大学大学院エネルギー科学研究科 教授 塩路昌宏氏 (S50)

IV. 17:30～19:30 懇親会

会場：三菱重工業(株) 横浜ビル 33階

会費：京機会員 7,000円、同伴者 3,000円、学生 3,000円

●ご自由な服装でお越しください。

●ご回答は、**4月4日(金)まで**に、同封のはがきでお寄せください。京機会HP(<http://www.keikikai.jp/>)からも、受付できます。

但し、二重受付登録防止の為、出欠回答は「はがき」か「WEB受付」のどちらか一方でお願いします。
なお、WEB受付では、ご同伴者のご芳名が登録できませんので、通信欄にご記入いただきお知らせください。

懇親ゴルフのご案内

春季大会・総会翌日「かずさカントリークラブ」にて懇親ゴルフコンペを開催いたします。

ご参加の方は上記春季大会・総会と合わせてお申し込みください。

日時：平成20年4月20日(日)

会場：かずさカントリークラブ

〒290-0528 千葉県市原市古敷谷975 TEL 0436-96-1212

詳細はホームページ(<http://www.kazusacc.co.jp/>)をご参照下さい。

**会費：約22,500円(プレー費、キャティ費、乗用カート、
賞品、パーティ代を含む)**

スタート：つばめコース 9時31分から5組

クラブバス：(1)JR五井駅発 8時15分

(東京駅7時30分発ビューさざなみ3号に連絡)

(2)横浜駅 7時発→8時40分着



かずさカントリークラブ HPより
富士コース(春の景色)

平成19年度京機会秋季大会・総会のご報告

西本工学研究科長にご参加頂きました！

平成19年11月10日(土)に京都大学百周年時計台記念館にて、秋季大会・総会を開催いたしました。

－ 講演会 －

下間頼一氏(S25、関西大学名誉教授)の『シルクロードを舞台にした東西技術文化の交流史』では、「高きから低きへ流れるが如く」伝わった技術の数々を、同氏が集められた貴重な画像とともに解説頂き、聴衆一同を楽しいシルクロードの旅につれて行って頂きました。

吉田英生氏(S53、京大航空宇宙工学専攻)の『地球温暖化 -不都合な真実か？それとも好都合な虚構か？-』では、地球温暖化を肯定派・否定派・懐疑派の立場から説明して頂き、地球規模のシミュレーション技術から宮沢賢治まで登場するというたいへんユニークなお話をして頂きました。



下間頼一氏

吉田英生氏

－ 総会 －

吉村代表幹事(S43)の司会のもと、中川哲会長(S38)の挨拶の後、工学研究科長・西本清一教授に、工学系同窓会の歴史と今後の在り方についてお話し頂き、「伝統的な色合いを残しながらの活動に大学として支援を行う」という、同窓会にとってたいへん心強いエールを送って頂きました。



ご来賓の西本工学研究科長

総会会場の様子

その後、松久寛氏(S45)より教室の現状を報告頂いた後、新任教員として蓮尾昌裕教授(S61)、岩井裕准教授(H5)、澄川貴志講師(H8)、井上康博助教(H10)、瀬波大土助教(H11)、山田啓介助教(H14)の紹介がありました。



－ 懇親会 －

国際交流ホールにて、田畑修氏(S54)の司会のもと懇親会が行われました。中川会長の挨拶に始まり、当日最年長の大先輩森川龍一(S25)氏のご発声による乾杯がなされました。途中、プロジェクタを利用して、学生フォーミュラチームより今年度の成果報告と来年度の計画・目標などが説明されるとともに、学生会SMILE代表からは活動紹介と今後の活動計画について報告がなされました。当日、参加していた多くの学生らもこれらの報告に関心を寄せていたようです。また、次回総会幹事支部代表として若園修関東支部長代行(S42)よりご挨拶がありました。

最後に、川辺泰嗣関西支部長(S40)から挨拶と万歳三唱がありました。その際、懇親会にも参加頂いていた西本工学研究科長へのエールに対するお礼も述べて頂き、座は大いに盛り上がりました。



懇親会場の様子

川辺泰嗣氏

秋季大会同時開催行事のご報告

－ 評議員会 －

11月10日の総会に先立ち、評議員会が開催されました。そこでは、卒業年度別同窓会(同期会)と京機会との連携を密にするため、平成20年度より従来の「代表評議員・地区評議員」の複数体制から、各年度の代表である学年評議員1名を窓口とする「学年評議員」体制への変更が提案され、総会に於いて承認されました。

P.8の学年評議員一覧を参照され、同期会の活発な開催にご利用下さい。連絡先不明の折は、京機会事務局までお問い合わせ下さい。



－ 学生と先輩との交流会 －

11月10日午前より、京機会主催、京機学生会SMILE企画運営の「学生と先輩との交流会」を、物理系校舎にて開催しました。

当日は、企業105社、200名を超える先輩方にご参加いただき、現役学生も多数参加しました。参加者はその後も総会・懇親会にもご参加いただきました。





支部だより

関西支部からのお知らせとご報告

関西支部の活動

平成20年度は、異業種交流会、産学懇話会、MOT研究会等の活動内容の充実をはかり、大学・企業の連携を強化して参加層の拡大に努め、中核支部として、より活気のある関西支部を目指します。

平成20年度支部総会・新年会の報告

日時：平成20年1月11日(金) 17:30~20:30
場所：ホテルグランピア大阪

■支部総会(17:30~18:30)

平成19年度の支部各種活動(異業種交流会、産学懇話会、京機サロン(MOT研究会)、京機会MOTセンター(KMC))の報告を行った後、平成19年度決算、会則変更議案、平成20年度役員、活動計画、予算の審議を行い、原案通りに可決されました。

支部長は川辺泰嗣氏(S40)の再任、新事務局長に岡村将光氏(S56)が就任しました。

■平成20年度新年会(18:30~20:30、出席102名)

当番会社：三菱電機(株)



当番会社代表山西健一郎氏(S50)の開会挨拶に続き、川辺支部長挨拶、来賓中川京機会会長(S38)、若園関東支部長代行(S42)の祝辞、大学代表松久教授の近況報告、そして参加者最年長の三瀬真作氏(S16)のご発声による乾杯を行った後、世代を越えての交流・宴会に入っていました。途中、今年の新人紹介(4名)、学生フォーミュラ「KART」の活動紹介、「琵琶湖周航の歌」斉唱があり、大いに盛り上がりしました。

最後に次期当番会社である松下電工(株)奥平有三氏(S53)の挨拶のあと、全員での万歳三唱を行い、新年会はお開きとなりました。



平成19年度下期活動報告

■産学懇話会

第27回：平成19年10月12日(金) 参加者数：35名
(第25回異業種交流会と合同開催：次項参照)

第28回：平成19年12月1日(土) 参加者数：31名
(1)「移動体のナビゲーションと誘導制御」

京大・機械理工学専攻 中西弘明講師(H2)

- (2)「市場メカニズムの新しい使い方
- 予測市場システムとその需要予測への応用 -」
京大・機械理工学専攻 水山元講師(H2)
- (3)「技術者の知らない世界・
産業構造を変革するマーケティング」
元産業構造研究所所長 マーケッター 板垣 仁氏

■異業種交流会

第25回 平成19年10月12日(金)

(第27回産学懇話会と合同開催)

場所：イオン工学研究所 参加者総数：35名

- 講演：(1)イオン工学の歴史と将来の展望
井手亜里教授(S52)
- (2)イオン工学の紹介、先端技術の紹介
浅利正敏専務他
- (3)イオンの応用例
田畑 修教授(S54)
- (4)国営から民営へ、イオン工学研究所経営
佐々木美樹会長(S48)



見学：『イオン注入・成膜装置』見学

■京機サロン(MOT研究会)

第29回：平成19年11月2日(金) 大阪弥生会館

参加者：44名(京機会MOTセンター(KMC)と共催)
「M&A最新事情と企業価値向上」 佐山展生氏(GCA)
当日の様子は、京機短信No.75をご覧ください。

第30回：平成19年12月10日(金) エスカイクラブ大阪
「ワイヤーハーネスのものづくり」
西田光男氏(住友電工、S45)

第31回：平成20年2月15日(金) ガーデンシティクラブ大阪
「国の政策の創り方、考え方」
能見利彦教授(神戸大、S54)

■京機会MOTセンター(KMC)

次ページにて紹介しております。

■京機九日会

2/9：書類立国日本(文系人間が技術を滅ぼす)
江見善一氏(S36)

今後の活動予定

■第26回異業種交流会

大学創立記念日6/18(水)に、学生会SMILEとの共催を予定。

場所は未定ですので、ご希望あれば事務局まで!

■第28回産学懇話会 日時、場所未定

■京機サロン(MOT研究会) 日時、場所未定

●上記会合は詳細決定次第、京機会HP、E-mailにてご案内いたします。

■京機九日会

場所：大阪中央電気倶楽部

4/9：「機械学会シニア会について」 坂戸瑞根氏(S32)

6/9：「工学理学そして人間」 久保愛三氏(S41)

8/9：「コンピュータ業界の話題」 伊藤俊太郎氏(S37)

10/9：「宝石の話」 中谷征二氏(S37)

■京機・京都の会

日時：3、7、9、12月の第1土曜日、11時から

場所：ウェスティン都ホテル(三条、蹴上)



京機会MOTセンター(KMC)のご紹介

京機会MOTセンターは、京機会会員のもつ技術や経営における豊富な経験を活用して、

- 1) MOT人材育成と起業支援(対象:京機会若手会員)
- 2) 中小企業やベンチャーなどの経営や技術課題の解決支援

などに取り組むことを目的として、平成18年11月設立されました。

関西支部では、従来より京機サロン(MOT研究会)などの活動を通じて、京機会会員の人的ネットワークの醸成とMOT意識の啓蒙に取り組んで来ました。また、団塊の世代の退職期を迎え、退職者の社会活動を促進し、先人の技術や知恵を次世代へ継承する必要もあります。これらを更に活発化、高度化する組織がKMCです。このことにより、京機会を一層活性化し、京機会社会貢献を促進させることにもつながります。KMCの組織形態、活動内容を図に示します。

これまでの活動としては、下記の活動などを行ってきました。

- ①**中国大連市** 金型など市内製造工場の技術向上のための日本人技術者の指導の相談。
- ②**京都リサーチパーク(KRP)**に協力して、宇治市VIF(中小企業対象セミナー)への講師派遣、懇談会参加。神戸市K10でのセミナー開催と商談マッチング会参画。(右記写真)
- ③**TSIの経営課題解決支援** イオン工学研究所の事業に関する提案の作成。

KMCは技術や開発・経営において、中小企業などが必要としている具体的な案件を待っています。

KMCの最大の武器は5千人を優に越す京機会会員のネットワークです。京機会会員皆様のご協力、ご支援を期待しています。関連情報やご質問がありましたら、下記までお寄せ下さい。

会 長 : 中谷征司(S37)
 副会長 : 平田誠計(S43)
 事務局長 : 各務嘉郎(S45)

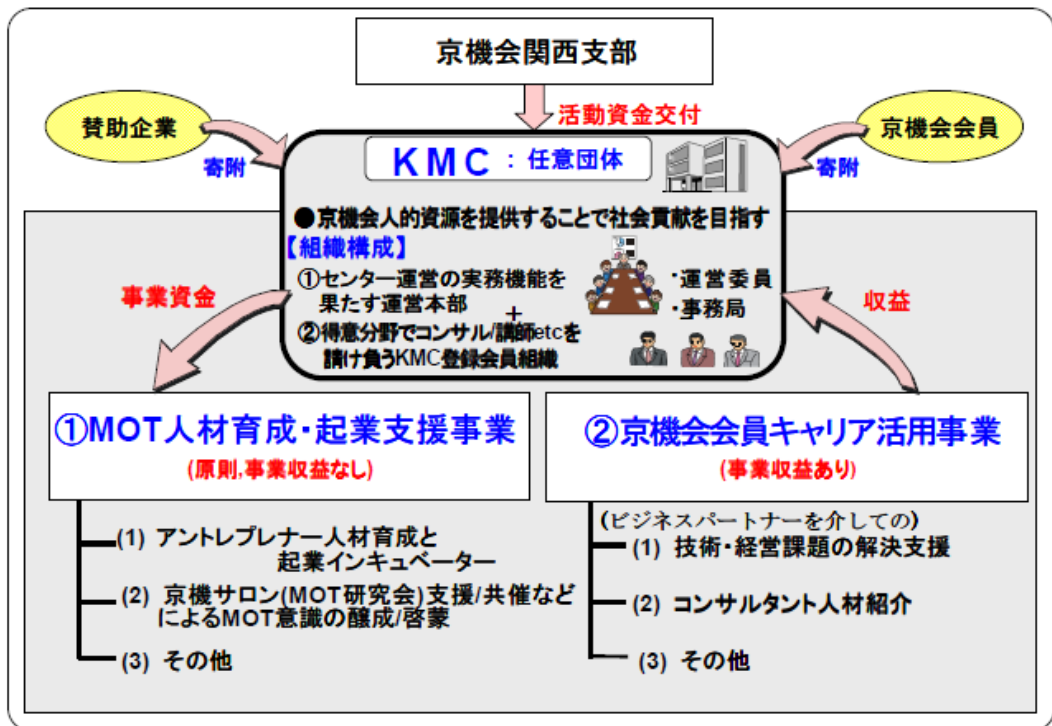


「事業化・商品化の勝機を逃さないために」セミナーと商談マッチング会(神戸市K10)



中小企業対象セミナー(宇治市VIF)

貴方の技術・知恵を活用してください。
技術・経営の援助をします。
人材育成を手伝います。
起業を手伝います。





支部だより

関東支部からのお知らせとご報告

京機学生会工場見学とOBとの交流会報告

京機学生会SMILEの企画で下記のとおり関東支部企業の工場見学と関東支部OBとの交流会を実施し、大変有意義な時間を過ごせたとの感想を得ることができました。

■工場見学(平成19年11月22日、23日)

- ・22日:旭硝子京浜工場、JFEスチール東日本製鉄所
- ・23日:日産自動車追浜工場、東京ガス環境エネルギー館

■OBとの交流会(平成19年11月22日)

- ・場所:JFEスチール アウマンの家
- ・参加者:学生15名+OB16名



第8回関東支部総会・新年会の報告

第8回支部総会・新年会は平成20年1月26日に中川会長、川辺関西支部長、藤川九州支部長をお招きして学士会館にて開催されました。来賓挨拶、支部報告の後、昨年7月以来空席になっていた支部長ポストについて来期より改めて若園現支部長代行にお願いすることを決議いたしました。

またその後、戸川一宏氏(S57)・松久寛先生(S45)より時代に即したテーマでご講演をいただき、活発な意見交換が続きしました。

・参加者:72名

なお、同日開催されたリカレント教育講座では、石田靖彦氏(S39)と久保愛三先生(S41)よりご講演をいただきました。



京都大学21世紀COE社会連携セミナー & 関東支部SOEの報告

第21回及び第22回、24回社会連携セミナーはそれぞれ平成19年9月28日(金)と11月16日(金)、平成20年3月7日(金)にいずれも東京住友クラブで開催され、終了後立食形式で、講師を交えての関東支部懇親会(SOE)を催し、意見交換を行いました。

平成20年度京機会春季大会・総会は、関東支部主催にて開催いたします。(詳細はP.2参照)
多数のご参加をお待ち申し上げます。

中国・四国支部からのお知らせとご報告

平成20年度 支部総会の報告

平成20年2月16日に宇部72アジススパホテルにて役員会及び支部総会を開催しました。役員会参加者は14名、総会参加者は34名でした。

役員会及び総会にて19年度会計及び20年度役員の承認が行われ、支部長は19年度に引き続いて 鷲尾誠一氏(S40、岡山大学)が、また事務局長には 後藤宏氏(S63、宇部興産機械(株))が選任されました。

支部総会と同時開催の異業種交流会(講演会)の後、宇部興産(株)の宇部アルミホイール工場にてダイカストマシン等の鋳造設備を見学し、引き続き宇部72アジススパホテルにて懇親会を開催しました。

翌2月17日には有志8名の参加により、宇部72カントリークラブ阿知須コースに場所を移して、ゴルフを楽しみながら懇親を深めました。

平成19年度 地区別交流会の報告

岡山地区(平成19年9月21日 参加者14名)、広島地区(平成19年10月20日 参加者20名)にて交流会を開催し、会員間の親睦を深めました。

広島地区では併せて役員連絡会も開催し、次回総会の日程等について議論しました。



広島地区交流会

今後の予定

平成20年度も秋頃に、広島・岡山・四国地区にて、地区交流会を開催する予定です。
多くの皆様のご参加をお願い致します。





支部だより

中部支部からのお知らせとご報告

平成20年度中部支部総会 & 新人歓迎会・懇親会のお知らせ

下記日程で、支部総会を開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

なお、同日、同会場で、杉江俊治教授のリカレント講演も開催いたします。

問合せ先：中部支部事務局
光行恵司 (株)デンソー生産情報推進室内

技術交流会 兼 学生交流会の報告

日時：平成19年9月26日(水) 14:00～20:30
場所：(株)デンソー 善明製作所 安城荘デンソー会館
参加人数：工場見学会8名、懇親会25名(学生19名)
工場見学：ディーゼル燃料噴射装置生産工場
講演：「レクサスブランドのめざすもの」

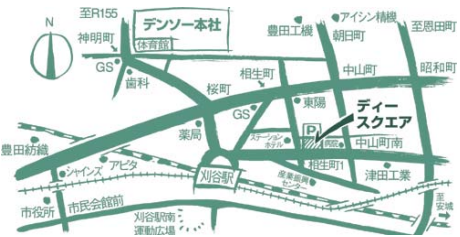
伊勢清貴氏(S53)

学生と一緒に、超精密加工の現場見学と、日本発の高級車ブランドの戦略についての講演を楽しみ、懇親会では、特に若手会員と学生の間で大いに話が盛り上がりました。

平成20年度中部支部総会&新人歓迎会・懇親会のお知らせ

日時：平成20年4月13日(日)
15:00～18:00 (総会)
18:15～20:00 (新人歓迎会・懇親会)

場所：(株)デンソーDスクエア 刈谷駅北口から徒歩3分
〒448-0026 愛知県刈谷市中山町2丁目38番地
TEL:0566-62-0555



特別講演

「マネジメント改革の工程表」(株)ピーング 取締役 岸良 裕司 氏

プロジェクトを全体最適の視点から成功に導く手法であるCCPM(Critical Chain Project Management)手法の実践をユーモアあふれるトークで解説してもらいます。 <http://www.toc-ccpm.net/aboutccpm/index.html>

「京都大学機械系21世紀COEの拠点形成活動報告」 講演概要はHPにてご確認ください。

京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻 教授 榎木 哲夫 氏(S56)

会費：7,000円(但し、H10年以降卒は4,000円、新人は無料、学生2,000円)

第二世紀記念事業リカレント教育講演会のお知らせ

日時：平成20年4月13日(日) 13:00-14:50
場所：(株)デンソーDスクエア (上記中部支部総会と同会場)
講演：「学習制御とシステム同定」 講演概要はHPにてご確認ください。

京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻教授 杉江 俊治 氏(S51)

●参加申込方法：同封はがき回答欄、または京機HP登録にてお申込み願います。 ●申込締切：3月20日(木)



京機事務局より

会計関連のお願い

会費納入のお願い

平成20年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

同窓会を維持し、また京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本を支えている製造業を推し進めてゆく活動は会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。是非、会費納入にご協力下さい。

寄付のお願い

ご承知の通り本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げると共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



平成19年度ご寄付者 (H19. 8. 1～H20. 2. 16)

翼 竹次様(1951) 加藤健治様(1968)
大西良弘様(1968) 田島靖裕様(2000)
大森俊博様(2004) 4040会(S40卒同窓会)

★永年会員登録のお勧め★

1971年以前ご卒業(60歳以上)会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費はお支払いいただくことなく生涯会員サービスを受けられます。(但し、登録に際し既払込会費の返金は致しません。)



支部だより

九州支部からのお知らせとご報告

平成20年度の行事のご案内

平成20年度は初夏に家族連れの行事、秋に定例総会を開催します。本部、他支部会員、ご家族のご参加も歓迎いたします。

平成20年度「初夏の行事」は右記の通りです。多数のご参加をお待ちしております。

平成19年度の行事の報告

平成19年10月20日(土)に、京機会九州支部の秋の行事を開催しました。第一部としてTOTO歴史資料館の見学会を実施しました。かつての首相官邸や国会議事堂の浴槽や衛生陶器など、1917年の創業から日本そして世界の業界をリードしてきたTOTOの製品開発の歴史を学びました。また、ウォッシュレット開発のProject Xなみの苦労話を聞きました。午後からは、第二部として小倉駅近くのリーガロイヤルホテルに会場を移し、総会・懇親会を行いました。本部の中川哲会長(S38)、川口東白前会長(S34)、中部支部の藤山一成顧問(S52)も出席していただきました。京都大学からは平成14年にスタートした「京機九州の会」以来九州支部を支えていただいている松久寛先生(S45)が事務局の段智子様とご一緒に出席されました。今回の行事の参加者は家族を含めて延べ24名でした。



見学会 TOTO歴史資料館にて



京機会事務局より

学年評議員一覧 (連絡アドレスは京機会名簿をご参照下さい)

卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名
S20	谷口 浩	S35	松木 健次	S51	杉江 俊治	H4	岩前 敦
S21	大矢根守哉	S36	四方 光夫	S52	中井 善一	H5	岩井 裕
S22	岸本 雅夫	S37	伊藤俊太郎	S53	上原 一浩	H6	茨木 創一
S23	岐美 格	S38	中川 哲	S54	坂口 保彦	H7	小森 雅晴
S24		S39	垣野 義昭	S55	小寺 秀俊	H8	泉井 一浩
S25	森川 龍一	S40	元田 武彦	S56	榎木 哲夫	H9	佐野 智一
S26	吉川 和彌	S41	中嶋 邦彦	S57	上井圭一郎	H10	鶴飼 宗紀
S27	鈴木 正直	S42	藤川 卓爾	S58	永瀬 豊	H11	佐藤 紘一
S28旧	乾 宰人	S43	迫 勝之	S59	横小路泰義	H12	小田 豊
S28	西田 弘	S44	並木 宏徳	S60	新井 聡	H13	土井謙太郎
S29	今井 昭	S45	各務 嘉郎	S61	蓮尾 昌裕	H14	金田 靖弘
S30	田中 道七	S46	三津田恒夫	S62	川上 浩司	H15	吉富 聡
S31	橋本 昌	S47	秋山 雅義	S63	玉川 雅章	H16	中安 祐貴
S32	福森 康文	S48	佐々木美樹	H1	石谷 善博	H17	向 朋作朗
S33	野田 忠吉	S49	閑納 真一	H2	水山 元	H18	中務 陽介
S34	柴田 俊忍	S50	山西健一郎	H3	若林 英信	H19	北川 優太

- 各学年評議員各位：学年評議員の交代がございます場合は、京機会事務局までその旨、ご連絡下さい。
- 昭和24年卒会員各位：現在、学年評議員が不在となっておりますので、ご一報いただきたくお願い申し上げます。

「初夏の行事」のご案内

霧島温泉とミヤマキリシマ、篤姫・薩摩歴史探訪

日時：平成20年5月31日(土)～6月1日(日)

場所：霧島国際ホテル TEL:0995-78-2621

鹿児島県霧島市牧園町高千穂3930-12

費用：宿泊費 ¥8,550/人 1泊朝食付(1室2人)

懇親会費：¥3,000.-/人 (家族は¥2,000.-/人)

オフショナルツアー：

<地熱発電設備見学>

5月31日(土)16時～17時 16時ホテルロビー集合

ホテル自家発電220kWバイナリーサイクル発電設備を見学します。

<えびの高原散策>

5月31日(土) 午後

早く到着される方、韓国岳登山はキツイ方にはお奨めです。

<韓国岳登山>

6月1日(日) 9時～15時 9時ホテルロビー集合

えびの高原(標高1200m)から標高1700mの韓国岳頂上往復します。

<篤姫・薩摩歴史探訪>

6月1日(日) 9時～15時 9時ホテルロビー集合

会費入場料昼食付¥3,600.-/人
篤姫ゆかりの仙巖園(磯庭園)、薩摩尚古集成館などを巡ります。

参加申し込み方法：

同封はがき回答欄、または京機会HP登録にてお申込み願います。申込者には別途ご連絡を差し上げます。



韓国岳

(表紙写真共に) <http://www.pmiyazaki.com/kirishima/tz/karakuni/>より

学生会SMILEからのお知らせとご報告

平成19年度下期の活動報告

学生会SMILEは上期に引き続き下期も、交流会を始めとして多くの企画を実施しました。来年度以降も先輩と学生が交流できるような企画を多く立案していきたいと思っていますので、是非ご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。以下に10月以降にSMILEが実施した企画をご報告します。

■業界・技術分析企画

日時：平成19年10月16, 23, 30日 参加学生：約100人
この企画は、学生に機械系の各業界の実情や新技術の知識を増やし、教養を高めてもらうことを目的として行いました。学生会メンバーがそれぞれの業界の動向や歴史を調べ、自分達なりに今後の展望を予想し、3週間に亘り参加者に対し発表しました。



■フットサル大会

日時：平成19年10月20日 参加学生：65人
この大会は、昨年度に引き続き京機会およびSMILEの認知度を上げ、学生に私たちの活動に興味をもってもらうことを目的として行いました。学部生から院生まで一緒になって汗を流し、多くの参加者にとって学年や研究室の垣根を越えた良い交流の場にもなりました。



■機械系学生の親睦会

日時：平成19年12月17日 参加学生：約30人
この企画は、学生が学年や研究室の垣根を越えて、同じ機械系に所属する者として親睦を深めるきっかけにしてもらうことを目的として行いました。このような企画は今年度が初めての試みでしたが、学部生から院生までの多くの学年が集まり、それぞれが共通に興味のある話題についてざっくばらんに議論してもらいました。



■関東工場見学

日時：平成19年11月22日～23日 参加学生：15人
この工場見学は、関東に在籍する企業を見学し機械系の先輩方と交流することで将来のキャリアを考えることを目的に、関東支部のご協力を得て開催しました。今年度は日産自動車・旭硝子・JFEスチール・東京ガスの4社を見学させていただき、さらにJFE研修所にてOBの方々との懇親会も実施しました。学生にとっては、先輩の貴重なお話を聞く良い機会になりました。（先輩方との全体写真はP.6に掲載）



■機械原理伝承企画

平成20年2月24日(土)、京都大学博物館にて、技術史の棚卸しをテーマに機械原理伝承企画を行いました。学生会では、現代におけるものづくりのデジタル化によってブラックボックス化している機械原理について今一度、幅広い年代が一緒になって考える機会を提供したいと考えました。



参加者は、京機会会員の皆様、機械系学生、高校生と多岐を対象に実施いたしました。OBから現役学生へ、そして学生から次の世代を担う高校生へと、それぞれが三世代間での交流をとおしてものづくりについて考える機会をもつていただくことができると考えています。

当日の様子は次号(No23)にてご報告いたします。

■学生と先輩との交流会

当日の様子はP.3、京機短信No.81をご覧ください。

SMILEでは 新年度のメンバーを募集しています！！

SMILEとは、京都大学機械系の同窓会である京機会の学生支部内の組織で、学生と卒業生との交流を目的として活動しています。

下記は、現SMILEメンバーが活動を通じて得たものの一部です。

- ・いろいろな人との交流ができた
(仲間、先輩後輩、社会人)
- ・自分が成長できた(組織的行動、考える力、計画性)
- ・達成感を得られた
(企画参加者からの声、大きな企画、充実した時間)

興味のある方は、北川優太(水山研)まで

京都大学フォーミュラプロジェクトKARTからの報告 (URL: <http://www.formula-kart.org/>)

「総合優秀賞第6位、京都大学」表彰式の壇上に上がることを目標にして早4年。ようやくその思いが大成したのは2007年9月15日のことである。

小型レーシングカーの製作を通して、設計、製作をはじめ資金運営をも含めたものづくりを中心としたプロジェクトマネジメントを学ぶ学生フォーミュラ。車が好きな人から加工がしたい人、ものづくりが好きな人、マネジメントを学びたい人、そして自身の成長の為に飛び込んでくる人がここにはいる。



2003年度の京都大学フォーミュラプロジェクトKART発足当時から表彰台に上るまでの道りは険しかった。初年度は車を作ることで精一杯であり、次年度は1台を完成させるものの問題が発覚して更にもう一台製作した。3年目では整った体制のもと組織立った活動に一步近づくことができた。そして昨年度になり、ようやく車そのものの性能を引き上げることに力を注ぐことができる段階までになった。これまでの成果を受けて、本年度は車の性能はもちろんのこと、ドライバーの育成や静的部門の準備等を含めたプロジェクトマネジメントの遂行という広い視点で更なる発展を遂げることが一つの課題である。

昨年度は3人のリーダー陣を筆頭にプロジェクトを進めた。これまで築き上げてきた活動体制と知識、そして経験をフルに活用し、その一方で新しい試みにも挑戦した。脈々と受け継がれるアルミスペースフレームと2年目から採用したカーボンプリプレグ製カウルは踏襲し京都大学らしさを残した上で、エンジンのフルコン制御化、駆動形や吸排気系の見直し、サスペンションジオメトリの改良やシャシーパーツの形状最適化を行った。だが当然困難を伴い、これまでに経験したことのない問題も多く発生した。エンジンは壊れ、冷却系は設計見直し、ブレーキは不動状態になり、ハブは破断、アームは屈曲した。



屈曲したアーム

ここで乗り切ることができたのは、KART発足当時からいる経験豊富な先輩諸氏が現役で活躍していたからに相違ないだろう。

このような話で思い出す言葉「組織は人間なり」の通り、優秀な人間がいなければこのKARTは成長することもままならない上に、大会であれば上位入賞は望めない。学生フォーミュラの活動に携わって初めてこの言葉の真意が身に沁みだ。ここで言う“優

秀さ”として大きなウェイトを占めるのは他ならぬ“行動力”であり、その原動力である”気持ち”の有無である。特に本年度体制は、卒業される先輩が多いために中心となって活動するのがKARTに入って然して年月を経ている若いメンバーでの構成となる。経験は、未だ無い。当然知識も浅い。上位入賞を目指すからにはこれらの不足を補って余りある行動力が求められる。

本年度体制に入ってこれまでにない活動も行ってきた。その大きな試みの一つは、昨年11月に開催した、2007年度大会報告を兼ねた試乗会である。これは、常日頃我々の活動を心にかけてくださっているスポンサーやサポーターの方々々に大会参加車輻に乗って頂く初めての機会であった。このような試乗会は我々も初の試み故、当日の進行については至らなかった点多々あるが、試乗された方々には非常に喜んで頂いた。無事に終了して感じたのは、この機会は我々に大事なことを改めて気づかせてくれたことである。学生フォーミュラの活動を続ける上では、車が嫌いでは立ち行かない。即ち、車を巡って何らかの喜びを感じることで、その気持ちが活動力の原点にあるという当然のことを思い出す好機となった。試乗された皆様は本当に車が好きであった。



試乗会開催

試乗会ピット

学生フォーミュラの活動を続けることの意義の捉え方には様々ある。確かに責任もあり義務化しがちであるし、自己を犠牲にしてまで努力してもその報酬が目に見える形では与えられないことが多い。しかし、間違いなく言えることは、学生であればまずできないことを実地で経験できること。特に、スポンサーやサポーターの方々との交流も含めて、この活動を通して得られるのは人間関係の築き方、その広さと深さである。

「昨年度の総合6位以上の結果を残す。」これは今年度体制の初めにチーム内で掲げた目標である。各人が活動に取り組む理由は必ずしも同一ではないが、それぞれの思いが募り合わされば行き着く目標は更なる高みということになる。各人が糧となるものを求めて努力した結果として上に掲げた目標が達成されたとしたら、それに勝るものはない。何よりも楽しむ気持ちを忘れないようにしたい。

今年度活動も始まって半年が過ぎた。現在は新車輻YJ-R06のシェイクダウンに向けて目下製作中である。最後になるが、この活動を続けることができるのも、スポンサー、サポーターの方々を初め、先生方、技術職員の方々の多くの暖かいご支援とご協力があったからに他ならない。ここに深く感謝の意を表して本稿を終わらせて頂く。(田浦 剛(M1)記)

若手による研究・教育の紹介 (4)

人と機械の論理をつなぐインタフェースの理論

唐突ですが問題です。下の図のドアは押して開けるものでしょうか？それとも引いて開けるものでしょうか？



何気無くドアを押し開けようとしたが開かず、取っ手のそばに目をやると「引」と記されていたという経験は皆さん少なからずおありだと思います。逆に言うと、使い手の認知的な特性を考えてデザインされたドアであれば、取っ手の形を見るとその開け方が自ずと分かるものです。そのような、それとの関わり方を人に示唆する、モノがもつ物理的な特性のことを「アフォーダンス」(affordance)と呼びます。そして、私たちはモノの存在を知覚するときに、それがどのように利用できるのかというアフォーダンスについての情報も同時に知覚していると言えます。ドアの例で示されているように、本質的にモノの外観は、それが道具としてどのような機能を備えているのか、そしてそれがどのように操作できるのかという、私たちにとってのそのモノの意味や価値を帯びているのです。

「インタフェース」(interface)とは、複数者間の接合部分や接点、界面を意味する言葉です。例えばコンピュータなどの情報機器であれば、機器の間をつなぐ物理的なコネクタや通信の規格をインタフェースと呼びます。一方、人が機械を使用して作業を遂行する系に関しては、インタフェースとは人と機械の間に立って情報のやり取りを仲介するもの、すなわちユーザ・インタフェースのことを主に指します。そしてそれは、ユーザが機械についての情報を入手したり操作するための手段を提供する、ユーザにとっての機械の「顔」にあたります。ユーザは、ドアにとっての取っ手の形状のように、機械がどのような機能を提供し、それをどう使用するように設計されたのかをインタフェースを介して理解

します。たとえコンピュータによって多種多様な機能が実現されている複雑な機械であってもこの構図に変わりはありません。そのため機械を正しく効果的に使用してもらうためにはユーザ・インタフェースのデザインが重要になります。

機械やコンピュータは、定型的な作業の繰り返しや動作の維持に関しては人間の能力を遥かにしのぎます。そのため、私たちの身の回りのさまざまな領域で自動化システムの導入や開発が進み、作業の精度や信頼性の向上、省力化に大きく貢献しています。ところが、自動化システムの状況判断は設計時に想定された範囲内に限定され、それを超える環境の変化や不測の事態には対処できず人の判断を仰がねばなりません。しかし、さまざまな機能を盛り込み複雑化した機械はブラックボックス化しており、ユーザからはその動作の根拠や論理が見えなくなっています。そのような機械を操作したり管理したりする作業は実は非常にやっかいな仕事です。

一方、どんな機械や装置であれ、その扱いに長けた熟練者がいます。そのような人々は一体何を理解し判断して複雑な機械を操作しているのでしょうか？我々はある自動生産設備の調整作業に熟練した作業者の技能を研究する機会を得ました。そして、熟練者は自動化システムがどのような稼働状況にあるのかを的確に捉えることができるマクロな変量を利用可能な計測データの集まりから特定し、判断のための情報として利用していることを分析から明らかにしました。彼らは目的を達成するためにその変量をどのような状態に誘導すべきか、そしてその誘導のために何をどう操作すればよいのかを経験的に理解しているのです。それはシステムを支配する論理の理解です。この研究では、この変量を操作画面上に提示するとともに、その誘導を知覚させるような操作手段を用意するべく、設備のユーザ・インタフェースの改良に取り組みました。

人と機械をつなぐインタフェースの設計とは、機械の動作の背後にある論理をアフォーダンス的なものとして「見える化」することです。また、人の論理を自動化の動作や機能に反映させることも大事なインタフェース設計の課題です。このような観点から、熟練者でなくとも理に適った自動化システムの操作や管理を可能にするインタフェースの研究に取り組んでいます。



堀口由貴男氏 (H9)

機械システム創成学講座 助教。
専門は人間機械系、特に人間と自動化機械の協調システムの研究。

就任

◆瀬波大士助教: H11京大・工・物理卒、H13京大・工・原子核修士課程修了、H16京大・工・原子核博士後期課程修了(博(工))、H16. 4. 1東大・宇宙線研究所研究員、H19. 10. 1本学・工・マイクロエンジニアリング 専攻量子物性学分野助教。



教員の異動

量子論における物性の理解を目的として、場の理論や相対論的量子力学を用いた基礎的な研究に従事。

異動

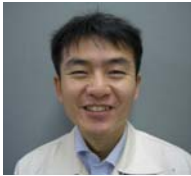
◆岩前 敦助教: 平成19年12月、日本原子力開発機構

◆土井謙太郎助教: 平成19年12月、大阪大学

先輩から学生の皆様へのメッセージ (5)

- 卒業後、3~4年の若き先輩からのメッセージを掲載させていただきます -

石田 進二 氏の略歴：箕島研出身。H14年学部卒、H16年修士卒。同年に日本ガイシ(株)入社。入社後はセラミックスの生産技術に従事し、現在はシミュレーション解析技術の開発に携わっている。



初めまして、石田進二と申します。社会人になって4年が過ぎました。今回は、自分がどう考えて日本ガイシに入社し、そして会社で何を学んだか皆さんに伝えたいと思います。私のメッセージが少しでも学生の皆さんにとって参考になれば幸いです。

今の会社を選択したきっかけは、学部の2回生と3回生のときに受講した材料基礎学の講義です。その講義の中で、私は破壊現象の奥深さに魅了されました。そして、破壊力学について学びたいとの思いで研究室は機械材料設計の勉強ができる研究室を選びました。就職先も材料系のメーカーを考えるようになりました。材料は、金属・プラスチック・セラミックス等様々ですが、いろいろと調べているうちに、セラミックスという材料は実に多種多様な性質を持つことを知り、セラミックスで有名な日本ガイシへ入社することを決めました。入社はすんなり決まり、学生時代に思い通りの道を進めたのは本当にラッキーだったと思います。

入社してからの自分に与えられた仕事は、新規セラミック製品の生産技術開発でした。ここで学んだことは、ものづくりの難しさです。同じ作り方をしても出来上がった製品の性能はころころと変わるんです。先輩から、「これを安定した性能で量産できるようにしたら、恐らく他社は真似できない。どういう装置でどういう作り方をすれば実現できるか、これを見つけるところに機械屋としてのやりがいがあるんだ。」と言われ、最初はあまり実感がわきませんでした。1年後には身に

しみて感じました。セラミックスって本当に手に負えない材料です。こんな材料に巡り合えた自分は幸せ者だと言いつけ、この材料を手なずけることに全力を注ぐことにしました。2年目からはシミュレーション解析技術に力を入れ、目に見えない部分を予測しながら改善を進めています。最近、知識が増えるとともに仕事の幅もぐっと広がってきている自分を感じています。そして、セラミックスをもっと知りたいという思いが自分の成長力になっていると感じています。

さて、これまでの経験から学生の皆さんにアドバイスできるとしたら、次のようなことかと思えます。

- ・まず、大学で学んだ中で自分は何に興味を持ったのか考え、とりあえず自分の興味分野に近い就職先を選んでみよう。
- ・会社では発見だらけの日々です。仕事を進める上では興味対象を広く持つようにしましょう。(興味あることに対しては、人間はすごい早さで知識を吸収していきます。)

いろいろなことに興味を持ち自ら首をつっこんでいくことで知識が広がります。そして、それは自ずと物事の事象を広い視野でとらえることとなり、結果として研究や開発のスピードアップに繋がっていきます。

以上、自分がこれまでに感じたことを率直に述べさせていただきました。ちょっと真面目な文章になってしまいましたが、話半分で読んでいただければ十分です。自分はまだまだ一人前のエンジニアにはほど遠い人間です。でも焦ることなく、同期の仲間と遊んだり会社のテニス部で汗を流したりしながら、仕事もプライベートもマイペースな人生を送ろうと思っています。皆さんも納得できる人生を送れるよう、有意義な学生生活をお過ごし下さい。

門林 義幸 氏の略歴：学部：吉川研、修士：富田研出身。H15年学部卒、H17年修士卒。同年ヤマハマリン(株)に入社。



学生の皆様、はじめまして！今回、学生の皆さんへのメッセージということで、書かせていただいているのですが、なにぶん、私も3年前までは学生でありましたので、社会人たるもの！などということはおこがましくていえません。早くそういう達観した心持になりたいと願っておりますが……。ただ、学生時代は自分にとって有意義であり、面白いことをさせてもらいました。それらのエピソードから何か新しい興味でも湧けばよろしいのではないかと思います。

私は学部生の時に京大機械研究会にてロボットコンテストに出るべく製作活動をしておりました。

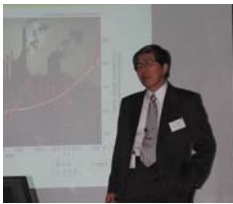
よくテレビで放映されている“高専ロボコン”を皆さんご存知だと思いますが、大学のロボコンも実はあるんです。入会当初、電子工作や機械加工やプログラムなどの知識は全くなかったため、凄く敷居が高いのだと思っておりましたが、あがいている内にそれらがある程度出来るようになりました。機械研に所属している間に、内燃機関を使った機械というのにも興味があり、丁度、学生フォーミュラKART立ち上げを期にそちらに参加する事となりました。KART立ち上げ年度では大会が目前であり、知識・経験が無い中で色々なパーツを組み合わせ、まさに夜を徹して“それらしく”つくりあげる事が精一杯でした。しかし、大会ではリタイヤ校が数多くある中、全競技やり遂げる事ができました。学生フォーミュラで全競技やり遂げられる！しかも、初年度で！あのタイムスケジュールで！なぜ出来た！？言葉で書き表せないものですが、立ち上げ時にかかわっていた

人たちはわかっているはずですが。言うならばとにかく感謝という気持ちでした。

同じものづくりだと思われるかもしれませんが、経験してみても思ったことはスケールが違う！ということです。ロボットの場合、多くて1台のロボットに3人ぐらいの制作者が付き製作を行っており、全体を見ながら一つのものを作り上げることができました。一方KARTの場合、作るものの大きさ、機能の多さにより、担当する人の数が多くなり、その分全体が見えませんでした。これは決してネガティブな感情だけで受け止めたわけではなく、組織力にて作り上げるものであるということも認識させられ、適度な安心感がありました。

鈴木健二郎先生を偲んで

平成19年4月25日に、鈴木健二郎名誉教授が、ご逝去されました。(右記は平成15年度秋季大会ご講演時の写真です。)
鈴木先生を偲んで開催されました「サヴァサヴァ会」の様子を同研究室ご卒業生より報告いただきました。改めまして、ご冥福をお祈り申し上げます。



平成19年10月27日に、京都大学百周年時計台記念館・国際交流ホールⅡにおいて、鈴木健二郎先生を偲ぶ会、伝熱工学研究室(鈴木研究室)同窓会「サヴァサヴァ会」が行われ、卒業生とその家族、研究室を支えた元スタッフと元秘書の方々など約70名が集まりました。

サヴァサヴァ会は、鈴木健二郎先生が機械工学教室にご在職中の平成7年に、伝熱工学研究室内の卒業生の有志により、同窓会として作られたものです。この会の名称は、気軽に「サヴァ?」「サヴァ」「元気ですか?」「元気です」と挨拶できるようにと、鈴木健二郎先生のご助言を戴いたものです。以来、概ね隔年ごとの秋季に鈴木健二郎先生ご夫妻をお招きし、卒業生相互の親睦を深めてきました。また、平成12年には還暦記念、平成15年には退官記念の祝賀会が開かれました。本会は、鈴木健二郎先生のご退官され、芝浦工業大学に移られた後も継続し、平成18年10月28日に京都大学近くの料亭で開かれた折にも多くの卒業生が集まり、現役でご活躍中の先生のお話を伺いました。しかし、残念ながらこのときが鈴木先生を囲んだ最後の会になり、平成19年4月25日に鈴木健二郎先生はご逝去されました。その後、卒業生有志で相談をして、同年秋に京都大学で鈴木健二郎先生を偲ぶ会を開催することになりました。

偲ぶ会では、伝熱工学・乱流工学分野において格別の研究業績を残され、また多くのエンジニアと研究者を育てられた鈴木健二郎先生を偲んで、平成2年・平成3年学部卒業生が世話役となり、学術講演会と懇親会を行いました。

講演会では、荒木拓人氏(H10、横浜国大)「ミクロな世界の伝熱と燃料電池」、柴田豊氏(H1、ダイ

ロボットでは物事をトータルで見る大切さを、KARTでは組織力とその中でいかに見渡す(コミュニケーションする)かを学べていたのではと、社会人になった今感じているところであります。

学生時代に「今までの学生時代は色にたとえると何色ですか」というアンケートがあったのを覚えています。おぼろげではありますがその結果として無色か灰色が多く、つまりネガティブが過半数だったように記憶しています。これではやっぱりつまらないと思いますので、出来る限りみなさん好き好きいろいろな色を自分の学生時代に付けてみてはいかがでしょうか。と私からのメッセージにさせていただきます。「学生」に悔いの無いように!

キン工業)「空調機用熱交換器の開発と伝熱工学」、鈴木洋氏(S60、神戸大)「氷の世界」の表題で、第一線で活躍する卒業生から最新の研究成果を発表して頂きました。各氏とも、現在の研究成果に加えて、伝熱工学研究室で過ごした良き日々の思い出や、鈴木健二郎先生の温かいご指導の思い出について、写真を交えながらお話下さいました。時計台を背景に記念写真を撮影後、康倫明氏(S48、ダイキン工業)率いるサヴァサヴァ楽団から「千の風になって」他3曲を演奏して頂きました。



懇親会では、稲岡恭二氏(H1、同志社大)に鈴木健二郎先生のご業績を解説して頂きました。同氏のスピーチでは、先生が国際会議で質問なさっている写真や、会議後のパーティーでにこやかに笑っておられる写真、またボート部部长として競技会の応援を熱心になさっている写真をご披露頂き、教育と研究だけでなく、何に対しても誠実に取り組まれた先生のお人柄を思い起こすこととなりました。後半は、奥様の鈴木昭子様から「素晴らしい人々に囲まれて幸せだったと思います」とのありがたいお言葉を頂きました。最後は、同窓会の恒例として、サヴァサヴァ楽団の伴奏で「琵琶湖周航の歌」を合唱しました。鈴木健二郎先生の研究面では厳しく、しかし、優しく温かいお人柄を偲び、ご指導とご鞭撻に感謝しました。そして、伝熱工学研究室に学んだ往時を回顧し、互いに励ましあう会ともなりました。改めまして、故鈴木健二郎先生のご冥福をお祈り申し上げます。

末筆になりましたが、本会の開催を快くご了承下さり、また悲しみも癒えぬ中ご出席下さいました鈴木昭子様には厚くお礼申し上げます。

文責

北浦伸亮、高浦仁史、中前隆行、二神俊蔵、松原幸治(H2)、加藤也寸彦、鈴木一之(H3)

会員のページ

京機22年会卒業60周年記念同窓会

日時：平成19年10月9日(火)

場所：京都大学百周年時計台記念館

参加者：台湾からの1名を含め17名、夫人2名計19名

機械教室の見学：昔の機械教室の面影を残す建物は全くなく、機械工場とCAD研修室を見学した。

集合写真の撮影：背景に京大のシンボルである時計台を入れた写真をプロの写真屋を雇って撮影した。

昼食会：時計台2階会議室でレストラン・ラ・トゥールの料理による昼食会が行われた。参加各員の近況、意見等の自由スピーチがあり、有意義に終わった。



平成19年「京機23年会」同窓会

日時：平成19年11月9日(金)12時～15時

場所：京都センチュリーホテル 出席者：11名

開催日直前に田中吉之助君が緊急入院、山田啓之助君が家事都合で欠席になったが、中村君が5年ぶりに出席された。飲み放題のアルコールの量は年々減るようだが、フランス料理を楽しみながら、各人の近況報告に花咲いた。全員80才を超えての最初のクラス会で、健康に関する話題は当然ながら、クルージングでの外地旅行や、大河ドラマの旧跡を訪ねての話題などもあった。来年は卒業60周年を迎えるので記念クラス会の話も出たが、各人の出席の容易さを勘案して、平成20年11月11日(火)12時～15時、京都センチュリーホテルで従来通りに実施に決定。初めての方も出席して下さい。(西岡記)



50年会(S25卒)2007年秋季例会

日時：平成19年10月22日(月)

場所：(社)大阪倶楽部 出席者：9名

木屑の香り漂う好秋、秋例会は有意義に開催された。今回より幹事は下間・小澤となった。

卓話は小澤君の訪欧談、イギリス・チェコ・オーストリアの2週間の旅。アルバムを回覧しながら、英国の緑豊かな田園風景を巡り、多彩な文化・遺跡・芸術を愛でた。チェコでは、プラハ城・旧市街広場、カレル橋等を訪ねた。オーストリアでは、ウィーンの

シェーンブルン宮殿・シュテファン寺院とベータ教会を訪れハプスブルグ家の荘厳華麗な文化遺産を観、楽友協会で、ウィーン・フィルハーモニーの演奏を楽しんだ。

次いで会員より近況報告、次回は平成20年5月12日(月)大阪倶楽部での開催を決め、散会した。(下間記)



海底会(昭和28年旧制卒)同窓会

日時：2007年11月9日(金)12：20～15：30

場所：ホテル京阪京都内 京会席 美濃吉

杉本幹事の長期にわたる周到な準備のもとに2年ぶりに京都の地で開催した。出席者は夫人2名を含め14名の好出席であった。スウェーデン在住の上田夫妻には帰国のスケジュールをこの会にあわせてもらった。現役時代には高負担であったがリタイアした今は高福祉の恩恵を受けて快適な生活を送っているスウェーデンでのトピックを聞いた。久しぶりの再会に、余暇の過ごし方、健康な生活法、若き日のともに過ごしたひと時等 時間を忘れ旧交を温めた。

次回は2年後に初めて東京で開催することとした。(乾記)



京大機械30年卒第8回同期会

平成19年9月27日(木)京大機械30年卒第8回同期会を嵐山で行いました。亀岡より保津川下りの船で、約一時間半の溪流下りを楽しみ、18時より嵐山「花筏」で、14名での同期会宴会で久々の旧交を温めました。



泰山会(昭和31年卒)

平成19年10月25日(木)11時半、大阪倶楽部に、赤松、沖野、木下、小浜、谷口、田村、富田、友田、永井、西田、橋本、山下、山本、和中の14名が集り、午餐の後歓談、遠方より参加の諸君が近況を述べました。2時半、大阪歴史博物館に移り、10階より難波宮跡、大阪城を展望し、住友銅吹所、蔵屋敷の発掘資料や、昭和初期の元気な大阪を見た後、大阪城を散策し、ビジネスパークIMPビル26階のアサヒビールで喉を潤し、語り続けた後6時半に散会しました。気遣われた天気も遅くに晴れ上がり、十五夜の月が大阪城公園駅に向う一行を照らしました。(小浜記)



京機S42年組の集い

11月2日(金)東京北品川の「金時」で、京機S42年組の集いを開催しました。関東在住者を中心に10名が集まりました。

出席者:市原、岡、清野、曾田、長崎、林、藤川



京機32会卒業50周年同窓会

今年は卒業50周年なので9月に、初日はホテル・グランヴィア京都での懇親会、2日目は大学キャンパスの見学会を実施。出席率は大変良く総勢44名。懇親会では美味しい京料理に舌鼓を打ちながら歓談。

最後は全員による琵琶湖周航の歌。翌日はまず機械系教室の見学。その後宇治分校、桂キャンパスを訪問。最新の研究設備などに参加者一同大感激。再会を約して解散。(坂戸記)



京機32会卒業50周年記念 (H19.9.26)

昭和33年卒同窓会(京岬会)報告

2007年度京岬会が10月16日、17日の両日、開催された。原則、関西と関東で毎年交互に開くことになっている。今年も関東。初日は鎌倉見学。参加16名。大仏拝観のあと長谷寺へ。有名な十一面観音と寺院のたたずまい、お庭などに、古刹の雰囲気堪能、そして写経で全員心を洗った。あと鶴岡八幡宮、宝戒寺などを巡ってから、湘南海岸沿いを、チャーターバスで根府川のリゾートホテルへ向い、温泉につかって寛いだ。夕食会ではおおいに飲み、語らい、そのあとカラオケ、囲碁など、まだまだ歳を感じさせない若さがあった。翌日はゴルフと観光に分かれたが、それぞれ旧交を温め、卒業以来、49年を経て、なお、元気で賑やか、充実した両日を過ごすことができた。(倉田記)



昭和38年卒同窓会

昭和48年に第1回の同期会を開催して今回で9回目で、過去最大の27名(生存41名)が参集した。第7回からは関東、中部と持ち回り開催し、今回は久しぶりの京都開催となった。

9月30日午後京大吉田キャンパス時計台前に集合、時計台記念館・総合博物館を見学、宿舎の京都ガーデンパレス・ホテル(京都御所蛤御門)で懇親会を開催した。翌10月1日は京大桂キャンパスを見学、機械理工学・小森教授、地球工学・家村教授などのご厚意で多くの施設見学、説明会があり全員大感激であった。次回は中国地区で開催予定。(安江記)



京機ニュース記事投稿のお願い

今号より全面カラーページとなり、皆様のお写真等も見やすく掲載できることとなりましたので、皆様からの積極的な記事投稿をお願いいたします。

会員のページの原稿字数は、200字以内でお願いいたします。次号(2008秋号No. 23)の締切は8月末日です。

編集担当: 松原 厚、小森雅晴、伊藤靖仁、段 智子

平・大谷・北村研合同OB会

日時：平成19年10月27日(土) 17時から19時

場所：セントノーム京都 出席者：97名

OB会に先立って、吉田キャンパスにて材料力学研究会が開催され、こちらも大変盛況となりました。

セントノーム京都で開催されたOB会では、大谷先生はじめ諸先輩方のお話に笑いが溢れ、4月に副学長になられた北村先生へサプライズで花束と記念品の贈呈もありました。賑やかな歓談と楽しく和やかな雰囲気の下、再会を約束して散会しました。



第12回佐々木研最後の教職員を囲む集い

ちょっと変わった名前の会合ですが、毎年、各地に1泊旅行を行なって親睦を深めています。今年は新居浜で行ないました。ここは住友の別子銅山のあったところです。11月24日は別子銅山記念館とマリンプア別子(坑道跡)を見学した後、市内の割烹で地元のおいしい料理を楽しみました。翌日は、愛媛県総合科学博物館で世界最大のプラネタリウムや展示を鑑賞した後、来年の再会(蒲郡温泉を予定)を期して解散しました。(宇野記)



みそか会(河本研究室同窓会)

機河会を継承する河本研同窓会・みそか会は平成19年12月29日(土)17時よりホテルグランビア大阪19階アブで開催され、小浜(S32)、柴田(S34)、川合(S42)、坂本(S42)、戸谷(S42)、吉田(S42)、平田(S43)、尾上(S44)、河野(S44)、並木(S44)、各務(S45)、笹田(S48)、本城(S51)、藤田(事務官)の14人が集まり、柴田名誉教授の発声で乾杯の後、飲食・歓談をしました。今回は第2回で、次回も平成20年12月29日(月)に開催します。幹事連絡先は川合等。



7&8の会

「1977年・78年卒の中部地区の有志」の同窓会が初めて行われました。仕事の関係などの縁から輪が拡がり、2007年12月18日、名古屋ミッドランドのフランス料理店にて、30年ぶりの再会でした。名前は「7&8の会」。あつという間のひと時でした。次回は桜の咲く頃の約束で解散。この輪に参加ご希望の方は、ご一報を。中部支部にこだわりません。後列左から、77の藤山・山下・増本、78の橋本・岡部・鎌居・三浦。前列左から、78の野村、77の佐々木・鹿村、78の森。(欠席は78の伊勢、77のタイ駐在・園田他)(佐々木記)



振動研同窓会のお知らせ

ゴールデンウィークに振動研の同窓会を予定しています。詳細は後日E-mailでお知らせします。

つきましては、皆様のe-mailアドレスを山田までお知らせ下さい。 松久 寛

応用物理・応用分光学・光工学研同窓会のお知らせ

4月26日正午より京都大学百周年時計台記念館にて同窓会を開催します。詳細は下記をご覧ください。

<http://jasmine.kues.kyoto-u.ac.jp/aps1/dousoukai.html>

S45卒同窓会のお知らせ

とうとう還暦、退職の時期となりました。今回はリッチに京都の名庭のある料亭で、みんなで老後語り合ひましょう。家族づれ歓迎です。

日時：2008年4月12日(土) 17時30分

場所：洛翠(<http://www.rakusui.com/>)

詳細はE-mailでお知らせします。既に案内していますが、届いていない方は、e-mailアドレスを、各務迄ご連絡下さい。

●以上のように、同窓会開催案内や掲示板としても京機会ニュースをご利用下さい!